

第 20 回平和リレー講座 報告  
 明治海軍航空基地(安城市)巡り

毎年春4月に実施してきた平和リレー講座はコロナ感染症のため3年ぶりの開催。2022年11月15日、参加者18人はマイクロバスで安城市の元海軍航空基地跡と豊田市の榎塚味噌店を訪問。

初めに安城歴史博物館で学芸員から概略を聞いた。海軍航空基地は旧碧海郡明治村に1943年4月に着工。実機訓練のために角度を変えた滑走路が6本あった。44年5月に工事未完のまま訓練飛行開始。当初は練成訓練が目的だったが名古屋空襲の迎撃や沖縄戦などの実戦部隊となった。航空隊の規模は45年3月の時点で航空機217機、隊員総数4,078人。3月末からの沖縄近海の米艦船への特攻作戦では23名が戦死、通常攻撃を含め40名が戦死した。隊員の多くは10代後半から20代前半の若者だった。



図1 明治航空基地平面図



図3 燃弾庫



図2 非常用発電施設



図4 燃弾庫

現地は安城市在住 K さんに説明していただいた。最初に見たのは非常用発電施設。土に覆われた現地は外観からは全くわからない。発掘調査で奥行14m 幅5m 高さ4mのアーチ型ドームが確認されたとのこと。次に老人ホーム敷地内にある燃弾庫を見た。長さ10.9m、幅3.5m、内部高さ2m。基地の説明板もあり遺跡保存の見本にしたい。さらに燃弾庫、弾薬庫などを見たがどれも私有地にあり公的な保存管理が望まれる。



図5 弾薬庫



図6 現地での解説



図7 明治航空基地の碑

昼食後、豊田市の野田味噌商店を見学。元岡崎海軍航空隊の兵舎を味噌蔵にしており、社長の解説と終戦直後の飛行場解体時の貴重な写真など興味深く感じた。

今回も当事者ならではの現地説明があり収穫の多い講座でした。



図8 野田味噌商店味噌蔵へ



図9 元兵舎を利用した建物内



図10 元岡崎海軍航空基地終戦後の写真